

読者からの声

池田洋一（社会科学コース1993年度卒）

「ひろしま」を離れて2年。私は今、故郷博多で暮らしている。

そんな昨今、「飛翔」についての感想文を書く機会をいただいた。とはいっても、表紙に知り合いが写っているかどうかくらいしか関心のなかった「飛翔」である。感想文なんて…。そこで、僕にとっての「ひろしま」について、筆のむくま書きたいと思う。

今でもはっきり覚えている。1988年4月6日。僕の広島での生活の幕開けの日だ。4月というのに冷たい雨の降る日だった。在庫がないために、電気炊飯器が届かない。近くのコンビニで買ったパンとジュースが最初の晩飯だった。心細かった。

しばらくは悪戦苦闘の日々が続く。さびついた水道管が破裂し、床を水浸しにして下の学生に怒鳴り込まれたこと、入学して半年電話を付けたなかったため、夜、無性に人恋しかったこと（これは自分の勉強不足のせいであるが）。etc.、一人で孤独をしょい込んでいた。

それでも何とか街に溶け込んで行くことができた。銭湯のおばちゃんに顔を覚えられ、閉店間際でも快くいれてもらえるようになった。近所のお好み焼き屋のおばちゃんは、いつも一品おかずをサービスしてくれた。向かいのおばちゃんにももらったパレンタインチョコetc.、周囲の温もりが身にしみた。

そして始めた路面電車の車掌のバイト。広島での生き甲斐をようやく手にした感じであった。朝もやに浮かぶ原爆ドーム。朝日が眩しい大田川。一コマ目の授業に急ぐ広大学生。車窓からの眺めが、自分が広島で暮らしていることをようやく意識させてくれた。交通機関でのバイトということで、広島の「足」をになっているという自負も芽生えた。

学問はしなかったと思う。しかし、社会勉強は人並以上にできたと思う。ただ読書を余りしなかったこと、就職し自由な時間が少なくなった現在、これは非常にくやまれることだ。

11月、仕事で広島を訪れる機会があり、仕事の後、自分の住んでいたアパートに行ってみた。しかし古びた木造アパートはなく、そこはきれいに舗装されて駐車場となっていた。

総合科学部も西条に行ってしまう、自分がいた頃を偲べるものは広島街には少なくなってしまう。ただ僕にとっての「広島」が消えることはない。それは「広島」が僕の心に刻まれた、深い足跡であるからだ。

△ ▼ △

道重直子（社会科学コース卒）

突然、ゼミの先生だった鯉坂先生から電話がかかってきて、「『飛翔』について何か感想を」と言われた。「感想なんて何にもない…」と思いつつ、ついあっさり引き受けてしまった。先生は提出期限だけを何度も繰り返されると早々に電話を切ってしまった。

しかたなく久しぶりに「飛翔」を引っ張りだして読んでみた。既に「広島大学＝西条キャンパス」で話はずんずん進んでいて、「広島大学＝東千田キャンパス」しか知らない私は、今更ながら「時は流れている」と感じた。というより、卒業して1年と9ヶ月、私が社会人となってジタバタしていたこの短い期間も、広大総科は広大総科として、やっぱりジタバタしていたのだな、ということに改めて気づいたといった方が正しいかもしれない。

総科が移転してから西条に行った事はないし、なぜか東京で就職してしまったために広島街の動きからも随分と離れてしまった。この間は同じ会社の広島出身の人と話して、広島地名がけっこう思い出せなかったし、今試しに井の口台近くの遊園地の名前を思い出そうとしたけれどダメだった。（カタカナで何だか可愛らしい名前だったということは覚えている。）きっと私の能力的問題も多分にあるのだろうが、たった1年と9ヶ月でこの有様だ。（これで『飛翔』の感想文なんて書いていいのだろうか。）

とにかく、私にとって大学生活は東千田キャンパスで過ごした4年間だ。その4年間は、もちろんコースやゼミの選択、卒論など総科のジタバタに私のジタバタが重なっていたこともあったし、逆に全く重ならないこともたくさんあった。卒業した今となっては、私にとって総科は通過地点であり、もう2度とその地点でジタバタすることはない。総科にとっても、私は4年間面倒を見てやってようやくほっぽり出すことができた、ある時点通過したただの点に過ぎないだろう。ただ点と点は線でつながっているし、新しい線もそこから枝を伸ばしている。線の種類も点線だとかいろいろある。今更同級生に会うのは気恥ずかしくても、社会で出会う大学の先輩には妙に親近感を感じてしまったり、というように。

ある一定のサイクルで人が流れていく、その繰り返しの中で生み出される「力」が大学の存在価値ならば、その力の「強さ」や「勢い」がその大学の何らかのパロメーターになるだろう。そうすると「飛翔」も、「飛翔」にかかわる全ての人のエネルギーも、総科のパロメーターの一つになるだろうか？

私は総科で4年間過ごせたことにとっても感謝している。「飛翔」があろうとなかろうと、ずっとずっとそれは変わらない。ただ「飛翔」が継がれていくことは、総科生の「勢い」のある形が線としてずっと伸び続けていくことになるのかな、とは思う。

▲ ▼ ▲

近藤邦子（社会科学コース事務）

「広島大学に対しての不満や不便さについて感じたことを書いてほしい。」私がお世話になっている、社会科学コースの先生にそう依頼されたとき、まず頭に浮かんだのは、通

勤・通学の問題で、現在、駅から広大までの公共交通手段はバスのみです。その唯一のバスを便数の面から見て思うことは、来年度（平成7年度）には、ほぼ全学部が西条キャンパスに移転し終わり、そうすると今現在よりも必然的に学生・職員数は増えるわけです。ならば、もう少しバスの「増発」を考えてもいいのではないのでしょうか。

「バス通学（通勤）は不便だ。」と、このように考えている方は、決して少なくないと私は思っています。このような現状から自家用車・バイクによる通勤・通学者が増えており、ひいては駐車場の不足、交通事故の多発の問題へとつながっているといっても、大げさではありません。

広大移転による新キャンパス建設で大学当局も積極的にこれらの問題に取り組んでおられると思いますが、まだまだ多くの課題が山積みとなっています。今すぐ解決に到らないまでも、その実現に向かって変化していくことを強く願っています。

編集部から

近藤さんの主旨には全く賛成です。「飛翔」でも交通事故などの問題に取り組んできましたが、今後は駐車場やバスの便数までを考慮に入れた分析をすることができたらいいと思います。

この「読者からの声」の欄では、飛翔の紙面に対する批評・感想をお待ちしております。投稿は総科に関わりのある方ならどなたでも結構です。600字程度でお願いします。締め切りなどについては別途掲示でお伝えします。

編集後記

早瀬光司（教官編集長）

たまたま、友人のヘリコプターで広島大学の上空を飛ぶ機会があり、総合科学部の建物を写真に撮ってみた。総科を中心とした上空からの写真は珍しいと思うので、総科の質的な発展を願いつつ、本飛翔48号の表紙に採用してみた。

本48号では学生編集長、副編集長がそれぞれ2年生の篠崎君と田中さんに変わり、新たな体制でスタートしたが、本号でも学生委員はみな良くがんばってくれたので、個性あふれた新しい企画や新しい視点・観点を紙面に提供できたように思う。

私自身の編集長としての仕事の一つに学生委員との紙面構成・編集などに関する打ち合わせがあるが、エッセイその他いろいろと執筆していただく各教官や学外の方との連絡交渉なども重要な仕事の一つであった。その中でも有意義だったのは、「社会からの声」としてのインタビューに、東広島商工会議所の石井泰行会頭とお会いできて、いろいろとお話を伺えたことであった。「広大の門前町へ」を寄稿していただいた石井会頭はあの「賀茂鶴」の代表取締役社長をされており、社の酒蔵を市民・学生に開放して明るい交流の場、良い思い出の場にしたいと熱意をもって語られていた。賀茂鶴の本社で初めてお会いしたわけであるが、石井会頭の明るい人柄というか前向きな意欲を感じ、私にとって良い出会いが得られたと感じている。



篠崎陽平（学生編集長）

前回までの飛翔は内容的には様々ではあるが、取材形式から見ると教官への原稿依頼や顔見知りの学生を集めての座談会や編集委員による記事などがほとんどであった。今回はより広範な学生の意見を集めることに努め、就職難・ごみ・学習事情の3つの記事でアンケートを行った。こうしたことは編集委員の独りよがりな記事をさけることになる一方、アンケートをして頂く過程で学生の中に飛翔の存在を身近にすることができたのではないかと思う。また今回は「読みやすい飛翔」を目標に、イラストや写真を豊富に使ったほか紙面のデザインにも凝ってみた。

反省すべき点は研究室紹介が復活した反面、就職難・ごみという特集に教官・事務官の記事がないことなど全体的に学生が書く場面が多くなりすぎたことである。次号では検討したい。

みなさんご苦労さまでした

田中裕子（学生副編集長） 強力な助っ人と芸達者な相棒のおかげで紙面がガラッと変わりました。にしても、いろいろあーすればよかったと後悔が残る企画にしてしまった…。ちょっと私にしては荷が重すぎたかなあ、就職難って。

谷瀨茂樹 身の程知らずにも1人で8ページという特集に準ずる記事を担当させてもらいました。ごみ問題は立場違えば意見違いで、まだまだ対立の多い話題だと思うので、もっと議論を交えた企画にすればいいと思います。

伊藤美紀 この48号を作るにあたって、前半はほとんど参加してませんでした。みんなには本当に悪いことをしたけど、おかげさまで自動車学校生活を終わることができました。みんなよくやったと思います。ご苦労様でした。

公文奈弥 ついに手にいれたサブノートパソコン片手に、今回初めてちょっとだけ参加。華麗な手さばきの皆様にいちから教わり、パソコン修行をさせていただきました。でも部活の人には「無理なことに首突っこんで」とあきらめられそう…。

武田淳子 田中の裕ちゃんのおかげで飛翔に（今回初めて）入ったわけですが、やってみると結構おもしろくて、はまってしまいました。楽しい仲間が来て、私はとてもうれしいです。

岡本元 私が知っている飛翔は他人行儀で「面白さ」に欠けていた。読ませる魅力がなかった。だから今回のテーマは「読者が読みたくなるような記事」だった。それを目指してやってきたが、どうだっただろう。

三浦素子 就職の厳しさを実感できる記事となったでしょうか？取材に協力して下さった学生が口をそろえて、「本気で就職する気があれば大丈夫」とおっしゃっていたのが印象的でした。

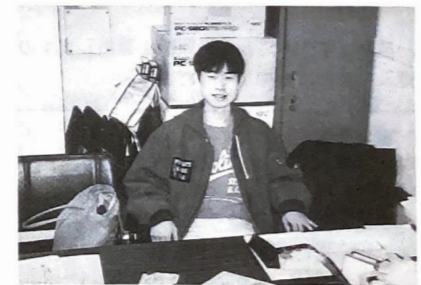
事務棟の……



1階で……



扉をあけると微笑む学生編集長が……

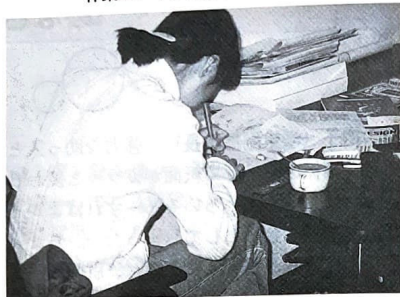


長谷川誠之 飛翔の編集室は、始めはみんなゆっくり仕事をするけれども後半は異常なくらいハイペースで仕事が進む。一度この様子を特集にしてもいいかも、皆さんどう思われますか？

小椋聡子 飛翔編集委員として過ごしたこの一年でしたが、たいして役に立てなかったような気がします。それでも、もし飛翔編集委員にならなかったら、こんなに苦勞して編集している人がいることを知らずに大学生活を送ったことでしょうか、その苦勞の一端を垣間見ることができただけでもよい経験になったと、今振り返っています。

小野ゆかり 飛翔委員になって一番ためになったのはパソコンに少し慣れたこと。決してゲームをやっていたからではないんです。ごめんなさい編集長。

作業にいそむ編集委員が……



ワイワイやっています。



▶次号特集予告◀

総合科学部と戦後50年

企画予定

- 平和問題に関する新入生や在校生の認識度を調査するアンケート
- 「日本の国際協力はどうか」についての留学生を交えた座談会
- 広大の教官や学生の研究で平和問題に関する研究がどの程度されているか

教官・学生の方からの原稿を募集しますので、進んで紙面に参加してください。



編集委員

☆早瀬光司（編集長：自然環境研究コース助教授）・青木孝夫（人間文化コース助教授）・材木和雄（社会科学コース助教授）・渡邊一雄（物質生命科学コース教授）
 ☆頼田武男（厚生補導係長）・島田文隆（厚生補導係）・灰田純江（自然環境研究コース事務官）
 ☆篠崎陽平（学生委員長：地域文化コース2年）・田中裕子（物質生命科学コース2年）・谷淵茂樹（外国語コース2年）・伊藤美紀（外国語コース2年）・武田淳子（物質生命科学コース2年）・三浦素子（社会科学コース2年）・公文奈弥（物質生命科学コース2年）・岡本 元（人間文化コース2年）・長谷川誠之（1年）・小椋聡子（1年）・小野ゆかり（1年）

H.H.K. 隊員募集

通称 H.H.K.（飛翔編集協力隊）は平成7年度隊員を募集している。

募集人員：無制限
給与：なし

総合科学部の広報雑誌「飛翔」。飛翔は若い人材を求めている。そこで君の力を貸して欲しい。まず君が飛翔に入ったときのメリットを書いておこう。

I. 編集室でくつろげる

今年から飛翔編集作業のために編集室が割り当てられた。今まで社会科学コースの学生室を使わせてもらい肩身の狭かった学生編集協力隊隊員は大きな顔をしてこの部屋でココアを飲んでいる。冷暖房完備。陽があたらぬのが玉に傷だが…。

II. パソコンをいじれる

飛翔の編集作業はパソコンで進められる。機種は98だ。WINDOWSはバージョン3.1。日々、編集協力隊隊員がソフトをインストールしパソコン強化につとめている。ここにパソコン修行をしに来る学生も少なくない。

III. 先生と知り合いになれる

自分でいろんな企画をすると、当然専門家の意見も聞きたくなる。そんなとき総合科学部は宝の山だ。いろんな先生のところへ行き、いろんな事を勉強できる。これは自分の将来の進路のためにもいいことではないだろうか。ひそかに自分はイラストがうまいと思っている人へ、ぜひ書いてみないか。

IV. イラストを発表できる

編集室に来たからって決してとって食ったりはしない。鎖について返さないわけでもないし、強制的に「君も明日から飛翔の編集協力隊隊員になれ」とは言わない。適当に理由をつけて（理由がなくても…）訪ねてきてくれないか。みんな、君の訪れを待っている。

では、編集室で会おう。



秋の風景

～学祭リターンズ, etc

11月祭

本来なら秋にある学祭だが、今年
アジア大会の関係で、7月に行われた。
しかし、有志により11月5日に“寿”と
いうイベントが行われた。



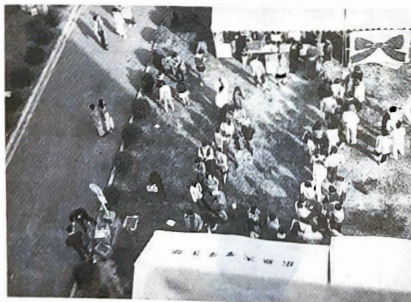
大繁盛!
本格派、焼鳥の店

DJ. 寿

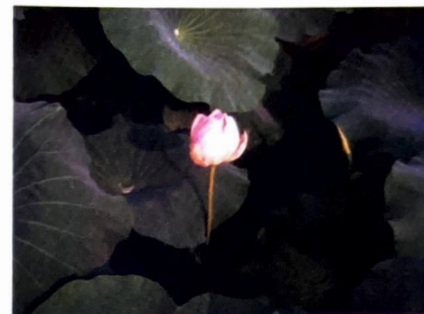


このお店は何か?
「いらっしゃ〜い」

行列、行列、行列
わいわい、ガヤガヤ
いつまで待たせんねん (怒)



緑豊かな西条で開かんとする
一輪の花



ただいま、テスト中
A「答え、見せろよ!」
B「う〜ん、わかんない」

大豊作!?
酒都西条を支える
米作り

